

人工関節治療特集

膝・股関節の治療、人工関節手術を行う病院

関節に強い痛みや機能障害を伴う変形性関節症やリウマチ。人工関節置換術は、こうした病気に大変有効な治療法であり、治療も進歩を続けている。東邦大学医学部整形外科の勝呂教授にお話をうかがった。

Medical Report

■ 進歩する人工関節置換術

近年、股関節や膝関節を人工関節に置き換える手術（人工関節置換術）の件数が著しく増えています。一九八〇年代には、股関節の置換術が年間一〜二万件、膝関節が年間一〜二万件程度でしたが、現在は、股関節の全置換術が年間三〜四万件、膝関節の置換術が年間六〜七万件を超えており、年間一〜二万件ずつ増加しているの、五年以内には十万件に達するだろうと言われています。股関節や膝関節が大半ですが、肩や肘、手指、足首などの手術も行われています。人工関節置換術の対象となる病



取材協力

東邦大学医学部整形外科教授

勝呂 徹

日本人工関節学会監事

昭和53年、千葉大学大学院医学研究科修了。昭和58年、ミネソタ大学整形外科に留学。昭和63年、千葉大学医学部整形外科講師。平成9年、東邦大学医学部整形外科教授。現在に至る。日本整形外科学会理事、日本リウマチ学会理事、日本膝関節学会理事、日本膝関節学会・学会誌編集委員、日本画像医学学会理事、日本関節症学会理事。平成20年、第33回日本膝関節学会会長。平成21年、第39回日本人工関節学会会長。平成23年4月、第55回日本リウマチ学会総会・学術集会会長。

気は、加齢に伴う変形性関節症やリウマチ性疾患、先天性疾患、外傷などですが、手術件数が増えた背景に社会の高齢化があることは明らかです。また、良質の人工関節が作られるようになったのも、置換術の件数が増えた要因でしょう。人工関節の多くは金属とポリエチレンで作られています。その材質が両者ともに非常に良くなりました。特に、ポリエチレンはビタミンEを加えた酸化しにくい素材が開発されて、十年間使用しても、ほとんど摩耗しないような製品が開発されています。

手術の方法も進歩しました。ナビゲーションシステムといって、術前にコンピュータでどの位置に人工関節を入れるかをシミュレーションして手術計画を立てると、術中は、その計画通りに手術が進むようにモニター画像が導いてくれる装置が普及してきています。皮膚や筋肉の切開をできるだけ小さく抑える最小侵襲手術（MIS）という術式も普及してきました。

■ 手術を受ける際に気を付けたいこと

最小侵襲手術で気を付けたいのは、人工関節置換術の目的は、あくまでも関節の痛みの除去と機能回復にあるということです。皮膚や筋肉の切開が小さければ、傷の治りが早く、早期に社会復帰が可能です。ただ、傷を小さくすることで、人工関節が正確な位置に入らないとか、術後に機能が安定的に回復しないのでは本末転倒です。

術後に人工関節と骨がしっかりと結合するには、生体生理学から考えて約三カ月は必要だと思ってください。

関節というのは、いくつかの筋肉でバランスよく支えられて、はじめて安定的に機能を果たすことができます。バランスが悪いと脱

（次ページに続く）

さまざまな先進的医療で症状に応じた治療を提供。良質な医療を提供するという方針に則った体制を完備。治療や回復まで一貫してサポート。

木更津東邦病院は、患者の満足する医療サービスの提供と成果を心にかけている。整形外科では、一般外傷やスポーツ外傷の他、脊椎疾患、関節痛、筋肉・腱・靭帯疾患、末梢神経疾患が診療対象だ。レーザー治療やAKA（骨盤矯正）なども施行されており、地元木更津の他、鴨川や館山など多方面から患者さんが来院している。高精度なMRIにより、検査範囲が拡大、検査時間は以前の半分ほどになっている。また、CTも高画質な3D画像を得ることができ、慎重な検査が可能になり、一人ひとりに応じた治療方針の決定に努めている。

人工関節置換術を中心に変形性の膝関節と股関節を対象として、保存的な治療から手術まで行う、人工関節手術の件数は人工膝関節形成術が104件、人工股関節形成術が34件（2011年1月〜12月実績）。一人ひとりの症状や状況に応じて、適切な位置に人工関節の置換を行うことを重視し、また、治療部位の切開をなるべく小さくし、患者の体にかかる負担を軽くする手術を行うよう努めている。リハビリテーション科では術後の早期機能回復、在宅復帰を一貫してサポート。良質な医療を提供するという同病院の方針に則り、生活の質（QOL）の向上を目指している。

千葉県



木更津東邦病院



院長 小島 國利

1967年〜1987年東邦大学医学部整形外科教室勤務、79年医学博士学位取得、83年同教室助教授就任（准教授）、86年木更津東邦病院開設。

【診療科目】 整形外科・内科・脳神経外科・形成外科・皮膚科・放射線科・リハビリテーション科

【受付時間】

月〜金 午前 8:00〜11:00
午後 12:30〜18:00
※内科、脳神経外科は17:00まで
土 午前 8:00〜11:00
午後 12:30〜17:00

〒292-0036 千葉県木更津市菅生725-1
TEL.0438-98-8111
<http://www.kisarazu-toho.com/>